

*Financial report 2017*

福井大学

# 福井大学

## 財務レポート2017

平成29事業年度

平成29年4月1日～平成30年3月31日

# —INDEX—

## 平成29事業年度のTOPICS … 1

- ・本学の機能強化を推進するための活動状況について
- ・キャンパス環境の改修・整備
- ・附属病院再整備事業

## 財務諸表相関図 … 4

## 平成29事業年度決算の概要 … 5



# 平成29事業年度トピック1

## 本学の機能強化を推進するための活動の状況について

福井大学は、第3期中期目標期間において、本学の機能強化を推進するため、3つの戦略を掲げています。

戦略1: 入試改革と教育の国際化等を通じた、地域が求める特色あるグローバル人材の育成

戦略2: 特色と強み、地域特性を踏まえた研究分野における「知」の創出と研究拠点形成

戦略3: 教育・産業・医療等における知の拠点としての地域創生の取組推進

### 【教師教育システムの海外展開／連合教職大学院の設置】

大学と附属学園との併任教員を継続して採用し、教育研究面で大きな成果をあげました。

福井型教師教育システムの海外展開を見据え、JICAの課題別研修として3週間の研修プログラムを実施し、13名の教育関係者を受け入れるとともに、マラウイ共和国(アフリカ)で初のラウンドテーブルを開催しました。

学校拠点方式の連合教職大学院の設置に向けての調整が進み、平成30年度より奈良女子大学(国立)・岐阜聖徳学園大学(私立)と連合教職開発研究科が設置されることが決まりました。

(戦略1)



マラウイでのラウンドテーブルの様子



平成30年2月5日  
友田教授 文部科学省にて記者会見

### 【医工連携による生体機能画像研究】

「子どものこころの発達研究センター」では、高エネルギー医学研究センターと連携し、分子生物学技術等を駆使した脳機能の解明に取り組むとともに、新たな発達障害の診療技法の開発を目指した研究を行っています。友田教授らの研究グループは、子育て中の母親の脳の機能を画像解析によって可視化し、気持ちが落ち込むなどの抑うつ気分が深刻化する前兆を把握できる評価法を開発しました。

(戦略2)

### 【地域創生への取組】

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の責任大学として、県内4年制5大学、福井県ならびに地域の産業界等と一体になって、地域で活躍できる人材の育成に取り組み、「ふくい地域創生士®」の第1回認定証授与式を行いました。本取組は、地方創生推進事業選定委員会による中間評価において、「S(計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる)」評価を受けました。

本学附属病院を中心として、ICT(情報通信技術)ネットワークを用いたクラウド型救急医療連携システムの研究開発を行いました。県内外の消防本部へタブレット型12誘導心電計付き救急端末と司令端末の配備を行うなどの取組みの結果、16名の急性心筋梗塞患者の救命に貢献しました。また、この取組が評価され、平成30年3月に総務省主催の「ICT地域活性化大賞 2017」優秀賞を受賞しました。(戦略3)



「ふくい地域創生士®」  
第1回認定証授与式



「ICT地域活性化大賞 2017」  
表彰状及びトロフィー

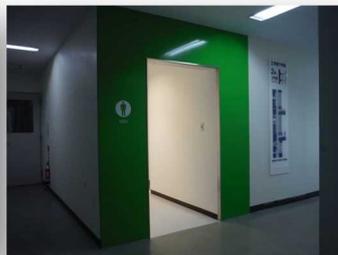
# 平成29事業年度トピック2

## キャンパス環境の改修・整備

### 文京第2運動場のテニスコート改修



### 工学系1号館3号棟のトイレ改修



### 視聴覚設備の更新



総合研究棟 I 総合第一講義室

### 講義室・事務室照明設備のLED化



工学部1号館112M講義室



経理課事務室

### 課外活動共用棟の空調設備改修



### 研究用設備整備



産学官連携本部において、「低ダメージ断面観察解析システム」を購入しました。この装置を用いることで、様々な試料の加工が可能となりました。

### 診療用設備整備



附属病院眼科において、「自動視野計」「超広角走査レーザー検眼鏡」等を購入しました。

# 平成29事業年度トピック3

## 附属病院 再整備事業

平成23年度に着手した附属病院再整備事業もほぼ工事を終え、平成30年度早期に全ての工事を完了し、今後は、駐車場整備や空調設備の改修を行う予定です。平成29事業年度再整備に要した総額は、約23億円(施設整備費補助金2億円, 借入金18億円, 自己収入3億円)でした。

9月11日に、神経科精神科、子どものこころの診療部、在宅療養相談室が移転を完了し、全診療科が再整備計画に基づく最終形の配置となりました。

### 患者総合支援センター



～患者さんの相談窓口を集約～

### 在宅療養相談室



～プライバシーに  
配慮した環境～

### 神経科精神科及び 子どものこころの診療部



診察室には、患者さんの不安が  
少しでも和らぐようなイメージ  
カラーを採用

10月23日、患者・家族サロン「やわらぎ」が新しくなりました。同日付で、外来・中央診療棟のホスピタルストリート沿いに「タリーズコーヒー福井大学病院店」がグランドオープンし、理美容サロン「オアシス」及び「ローソン福井大学病院店(B棟)」もリニューアルオープンいたしました。

### ホスピタルストリート



～中央受付と、新病棟を  
まっすぐにつなぐ通路～  
総延長100m

### 患者・家族サロン 「やわらぎ」



～主にごがん患者さんや家族の方  
が交流する場～

### 理美容サロン 「オアシス」



～プライベートな空間を確保～

### 「タリーズコーヒー」「ローソン」



# 平成29事業年度 財務諸表相関図

注) 単位: 百万円、( )内は内数です。  
百万円未満は四捨五入しており、計は必ずしも一致しません。

## 4. キャッシュ・フロー計算書 会計期間における資金の流れ

43,913		43,913	
【支出】	現金預金 期首残高 8,416	【収入】	35,497
	(定期預金 期首残高) (1,911)		
37,023			
(定期預金 期末残高) (3,212)			
現金預金 期末残高 6,890			

## 6. 決算報告書 国の会計予算・決算に準拠

35,929		35,929	
【収入】	35,929	【支出】	34,850
		収入-支出 (予算決算上の残高) 1,079	

## 1. 貸借対照表 (B/S) 期末日における財務状況

94,789		94,789	
【資産】	94,789	【負債】	36,923
	(現金預金)	【純資産】	57,866
(10,102)		(当期末処理損益) ▲364	

## 3. 損失の処理

▲364	▲364
当期末処理損失 ▲364	当期総損失 ▲364

【収入-支出の内訳】

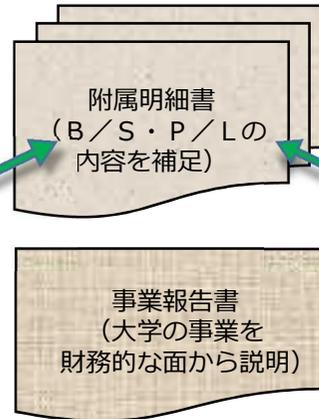
- 平成30年度以降への繰越額 計850百万円  
・医療機器設備整備 等
- 賞与・退職手当引当金 計247百万円
- 受託研究費等の繰越分 計20百万円
- 寄附金の過年度受入分の執行 計▲38百万円

## 2. 損益計算書 (P/L) 会計期間における運営状況

34,790		34,790	
【経常費用】	34,734	【経常収益】	34,372
		(自己収入等) (23,560)	
		【臨時利益】	54
【臨時損失】	56	【当期総損益】	▲364

## 5. 業務実施コスト計算書 納税者である国民の負担となるコスト

35,739		35,739	
【経常費用】	34,734	【自己収入等】	23,560
【臨時損失】	56	国立大学法人等 業務実施コスト	12,179
損益計算書上に計上 されない費用相当分	949		



- 主に、附属病院再整備事業に伴う減価償却費の計上、借入金財源での修繕費の増加によるもの。
- 平成30年度の病院再整備事業終了まで、同様の損益状況となる可能性が高い。  
※減価償却費は現金支出を伴わないため、決算報告書での収入-支出(キャッシュベース)はプラスとなっている。

※国民1人当たりの負担額：約96円

# 平成29事業年度 決算の概要

## 1. 貸借対照表 (B/S)

(単位：百万円)

資産の部	28年度	29年度	増減
<b>固定資産</b>	<b>82,634</b>	<b>81,185</b>	<b>▲1,449</b>
土地	42,278	42,278	0
建物	46,429	48,080	1,651 *1
減価償却累計額	▲18,482	▲20,418	▲1,936 *2
減損損失累計額	0	▲28	▲28
構築物	1,365	1,415	50
減価償却累計額	▲919	▲967	▲48
工具器具備品	26,003	26,009	6 *3
減価償却累計額	▲17,827	▲19,683	▲1,856
図書	2,615	2,647	32
建設仮勘定	991	1,586	595 *4
その他	179	266	87
<b>流動資産</b>	<b>13,557</b>	<b>13,603</b>	<b>46</b>
現金及び預金	10,327	10,102	▲225 *5
未収入金	3,069	3,355	286 *6
医薬品及び診療材料	92	84	▲8
その他	69	62	▲7
<b>資産合計</b>	<b>96,191</b>	<b>94,789</b>	<b>▲1,402</b>

### 28年度からの主な増減要因

(資産)

- \*1 \*4 病院改修に伴う増
- \*2 病院改修に伴う減価償却費の計上
- \*3 資産の増加(購入額)が例年と比較して減少(減価償却費の発生額は例年並み)
- \*5 定期預金(流動資産)から長期性預金(固定資産)へ振替えたことによる減  
病院改修工事費用の未払金減少による減
- \*6 精算払いの受託研究費に係る未収金の増

(単位：百万円)

負債の部	28年度	29年度	増減
<b>固定負債</b>	<b>25,525</b>	<b>25,653</b>	<b>128</b>
資産見返負債	8,333	7,671	▲662 *7
借入金	15,507	16,491	984 *8
長期リース債務等	1,370	1,134	▲236 *9
その他	315	356	41
<b>流動負債</b>	<b>11,684</b>	<b>11,270</b>	<b>▲414</b>
運営費交付金債務	169	292	123 *10
寄附金債務	3,938	3,900	▲38
未払金	5,297	4,649	▲648 *11
その他	2,281	2,428	147
<b>負債合計</b>	<b>37,209</b>	<b>36,923</b>	<b>▲286</b>
<b>純資産の部</b>			
資本金	50,666	50,666	0
資本剰余金	3,448	2,696	▲752 *12
利益剰余金	4,868	4,504	▲364 *13
<b>純資産合計</b>	<b>58,982</b>	<b>57,866</b>	<b>▲1,116</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>96,191</b>	<b>94,789</b>	<b>▲1,402</b>

### 28年度からの主な増減要因

(負債)

- \*7 運営費交付金や寄附金等で購入した資産の減価償却が進んだことによる減
- \*8 病院改修に伴う増
- \*9 短期リース債務(流動負債)への振替による減及び新規リース資産取得による長期リース債務(固定負債)の増
- \*10 各年度の残高は、業務達成基準適用による運営費交付金の次年度以降への繰越額
- \*11 病院改修工事費用の未払金減少による減

(純資産)

- \*12 施設整備費や目的積立金で取得した資産の減価償却費が償却期間中、毎年計上されることによる減
- \*13 前期繰越積立金から当期損失364百万円を差し引いたことによる減

## 2. 損益計算書 (P/L)

(単位：百万円)

経常費用	28年度	29年度	増減
教育経費	1,330	1,270	▲60
研究経費	1,547	1,608	61
診療経費	12,068	12,941	873 *1
教育研究支援経費	424	379	▲45
受託研究費等	1,090	1,043	▲47
人件費	16,188	16,739	551 *2
一般管理費	610	624	14
財務費用	152	131	▲21
<b>経常費用合計</b>	<b>33,409</b>	<b>34,734</b>	<b>1,325</b>
<b>臨時損失</b>	<b>17</b>	<b>56</b>	<b>39 *4</b>

### 28年度からの主な増減要因

(費用)

- \*1 患者数の増加による診療材料費の増  
病院改修に伴う資産の減価償却費の増  
医療機器整備による機器保守費の増  
借入金による建物修繕費の増
- \*2 退職者の増加による退職手当の増  
及び人事院勧告に準拠した給与改定等による増

(単位：百万円)

経常収益	28年度	29年度	増減
運営費交付金収益	9,278	9,426	148
授業料等収益	2,909	2,922	13
附属病院収益	17,006	18,295	1,289 *3
受託研究費等収益	1,088	1,040	▲48
寄附金収益	499	631	132
資産見返負債戻入	1,369	1,276	▲93
財務収益	2	2	0
その他	779	780	1
<b>経常収益合計</b>	<b>32,929</b>	<b>34,372</b>	<b>1,443</b>
<b>臨時利益</b>	<b>13</b>	<b>54</b>	<b>41 *4</b>
<b>当期総損失</b>	<b>479</b>	<b>364</b>	<b>▲115</b>

### 28年度からの主な増減要因

(収益)

- \*3 患者数の増  
診療単価の向上による増
- \*4 除却した資産の残存価額が除却損として臨時損失に計上され、対応する金額が臨時利益に計上される。  
(附属病院収入、借入金は臨時損失のみ計上)

### 3. 損失の処理

(単位：百万円)

I 当期末処理損失	
当期総損失	364
II 教育研究環境向上積立金（目的積立金）	0
III 損失処理額	
前中期目標期間繰越積立金取崩額	364

### 4. キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

活動区分	29年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	3,427 (+)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲5,446 (-)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	493 (+)
IV 資金に係る換算差額	-
V 資金増加額・減少額	▲1,525
VI 資金期首残高	8,416
VII 資金期末残高	6,890

I 業務活動：プラス計上となり、業務活動が順調に行われたことを表す。

II 投資活動：固定資産の取得及び定期預金への預入によりマイナス計上となったが、本学が積極的に施設等を更新し、資金を運用していることを表す。

III 財務活動：医療の質を向上させるため、借入金による設備投資を行ったことを表す。

### 5. 業務実施コスト計算書

(単位：百万円)

活動区分	28年度	29年度	増減
国立大学法人等業務実施コスト	12,377	12,179	▲201
（国民1人当りの負担額）	（98円）	（96円）	（▲2円）

### 6. 決算報告書

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	収支差 (決算-予算)
<b>収入</b>			
運営費交付金	9,663	9,905	242 *1
施設整備費補助金	362	332	▲30
補助金等収入	251	390	139
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	30	30	0
自己収入	19,371	21,445	2,074
（授業料、入学料及び検定料収入）	(3,153)	(2,838)	(▲315) *2
（附属病院収入）	(15,884)	(18,215)	(2,331) *3
（雑収入）	(334)	(392)	(58)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,717	1,722	5
引当金取崩	216	201	▲15
長期借入金収入	1,917	1,904	▲13
目的積立金取崩	-	-	-
<b>計</b>	<b>33,527</b>	<b>35,929</b>	<b>2,402</b>
<b>支出</b>			
業務費	28,285	29,513	1,228
教育研究経費	13,154	12,759	▲395 *4
診療経費	15,131	16,754	1,623 *5
施設整備費	2,309	2,266	▲43
補助金等	251	390	139
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,717	1,739	22
長期借入金償還金	965	942	▲23 *6
<b>計</b>	<b>33,527</b>	<b>34,850</b>	<b>1,323</b>
収入-支出	0	1,079	1,079

#### 主な増減要因（予算額と決算額との比較）

（収入）

\*1 28年度の業務達成基準適用による繰越額及び29年度の退職金追加配分による増

\*2 予算額に授業料減免相当額が計上されていることによる差違

\*3 患者数の増加及び診療単価の向上による附属病院収入の増

（支出）

\*4 予算額に授業料減免相当額が計上されていることによる差違

\*5 附属病院の増収に係る薬品等の診療費用の増

\*6 借入金貸付利率の見直しに伴う償還利息の減

# Financial report 2017

財務レポートをお読みいただきありがとうございました。  
決算に関連する資料は、本学HPにて開示しております。

<http://www.u-fukui.ac.jp/>

財務レポートの内容に対するご意見・ご要望を、  
財務部財務課総務・決算担当までお寄せください。  
内容の発展・向上に利用させていただきます。

発行：福井大学財務部財務課総務・決算担当  
〒910-8507 福井市文京3-9-1  
TEL 0776-27-9786  
FAX 0776-27-8870  
<mailto:z-zaimu@ad.u-fukui.ac.jp>